

第2回「会員・JMU面談会」を実施 — JMU商船建造撤退対応 —

JMU関係者の雇用を守るため、「舞鶴に就職したい人は1人たりとも市外に出さない」との方針のもとで、舞鶴商工会議所はハローワークなど関係機関とともに「第2回JMU等従業員と会員事業所面談会」を7月11、12日舞鶴市商工観光センターで開催しました。

JMUの参加従業員29人

この面談会は、去る4月に行った1回目につき開催したもので、2日間でJMU側従業員29人(延べ88人)、会員事業所からは33社の参加がありました。会場5階のコンベンションホールを8区画に分け、面談は1事業所当たり1時間に設定。会員事業所側から、事業内容の紹介や求める人材像などを説明する一方、JMU従業員からの質問や、双方の質疑で理解を深める—という内容で、“即決採用”も可能な面談会として実施しました。

JMUによると、今回参加された従業員は、4月の設計部門とは別の造船部門の方々が対象。配置転換時期が11月以降となっていたため、「時間がある中、従業員に切迫感が薄く参加者が少数になった」とされ、就職の決断についても具体化するには少し時間を要するのでは—と話されています。

今後も全力対応を予定

JMU舞鶴事業所での最終船の引き渡しが、来年の第1四半期(6月頃)と予定され、それまでに順次事業が終了することから、その都度従業員の配置転換が行われます。今後は、今回の面談会を契機とした従業員と会員事業所間の調整が進められるとともに、舞鶴市では府などの支援を受けて、別の面談機会の設定にも取り組まれる予定です。

舞鶴商工会議所としては、「造船を無くさない」、「経済規模を維持する」等の基本方針を踏まえながら、引き続き最善最高の対応に努めます。

参加いただいた33会員事業所

今回参加いただいた会員事業所は次のとおりです。

【7月11日】 細井工業(株)、(株)パシフィックウエーブ、(有)秋田クレーン、(株)京都インクス、松本電業(株)、(株)魚源、ケンコーマヨネーズ(株)西日本工場、ヤマキ建鉄(株)、弥栄電設工業(株)、東舞鶴郵便局、(株)平和熔工所、(株)田中製作所、丸玉木材(株)舞鶴工場、(株)坂根工務店、(株)オート舞鶴販売、和幸産業(株)、(株)伸栄工業、福村建設(株)、江守石油(株)、志摩機械(株)、(株)田中屋、(株)エヌエスケイ、日之出化学工業(株)、ホテルアマービレ舞鶴、(株)コザイ印刷所、京都府漁業協同組合。

【7月12日】 あずま電気設備、(株)舞鶴クレーン、オリックス・ファシリティーズ(株)舞鶴支店、林ベニヤ産業(株)舞鶴工場、(株)西谷通信工業、田中産業(株)、舞鶴厚生(株)。(順不同)

就職フェアにもJMU従業員

7月25日に開催した「夏の就職フェア」は、前年まで8月上旬に開催していましたが、JMU従業員の雇用を支援する機会の一つとするため、時期を早めて行いました。

会場の舞鶴市商工観光センターでは、参加事業所が予定の45から54に増加したため、5階のほかに4階にも会社概要等を紹介するブースを設置し参加者増に備えました。当日は、新卒者に加え、JMU従業員の姿もみられ、参加者は前年に比べて46人増の116人で、過去最高になりました。